



polka  
drops

PP546-PP549

クロスフーディ仕様書

材料

表地（次ページ参照）

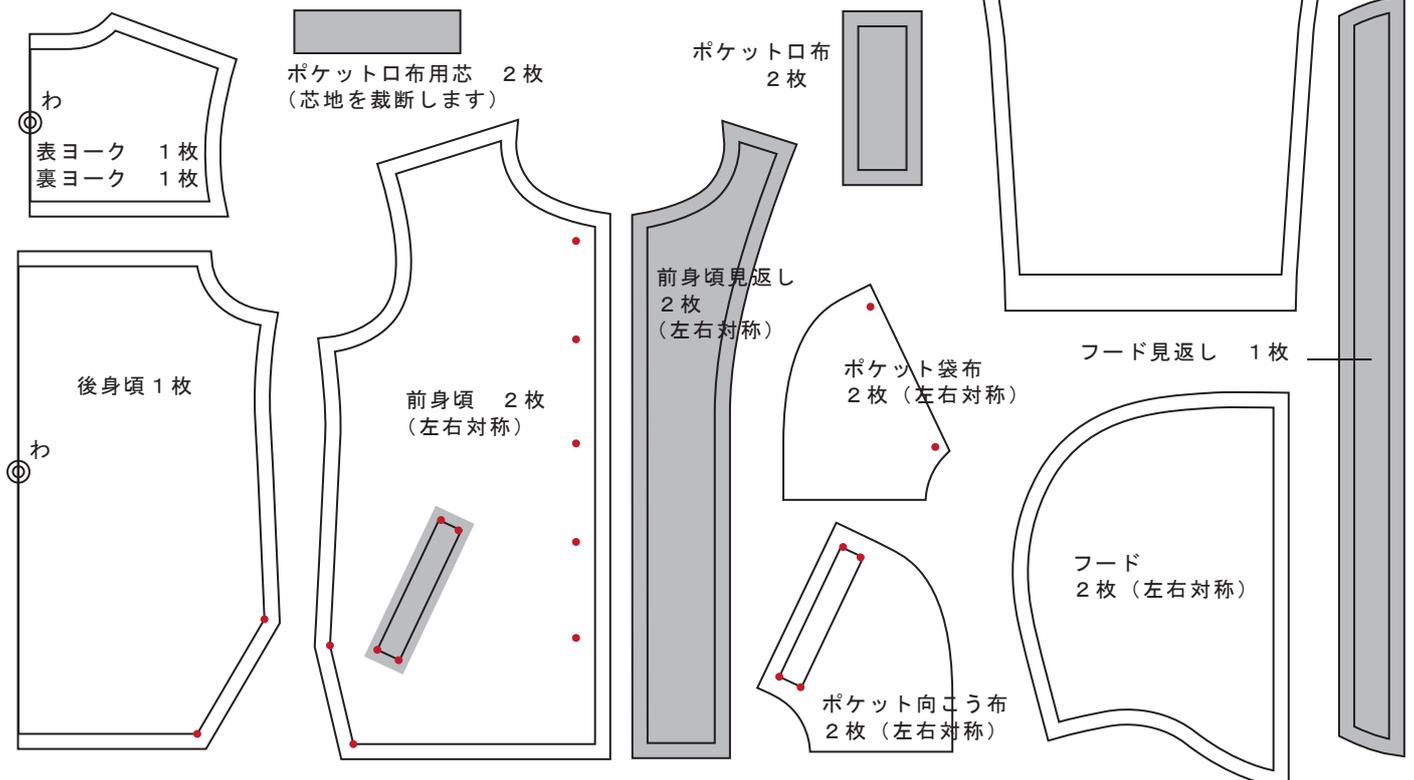
芯地 S0.8m、M0.8m、L0.9m、LL0.9m

別布（ポケット袋布）0.3m

ボタン 20mm 径 × 5 個

準備

- 裁断パーツ 11 合計 20 枚
- 赤丸に印（身頃ポケットできあがり位置、ボタン位置、脇裾部分。ポケット袋布と向こう布のポケット口）



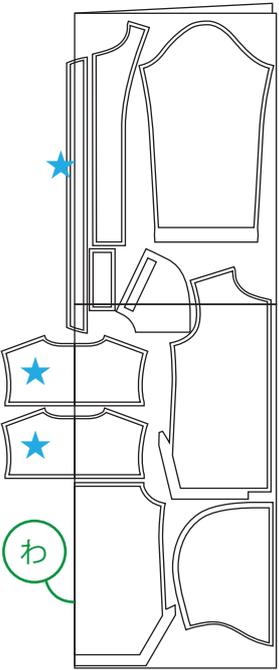
用尺

- 型紙はすべて、一方方向に配置しています。  
差し込み（型紙の上下を入れかえたりして用尺を減らすテクニック）は使用していません
- 表地のみでの配置図です。
- パターンが反転で配置されている場合があります。
- 理論上入る、ギリギリの最低用尺を計算で出しています  
生地ゆがみ、個人の力量、柄合わせ、等により当然、必要量が増えます。
- 水通しで縮む分は計算に入れていません
- ★は、1枚で裁断します。

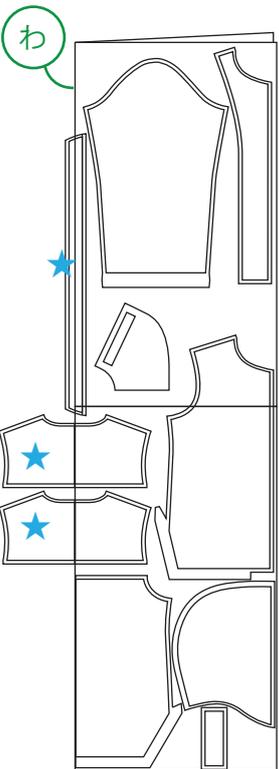
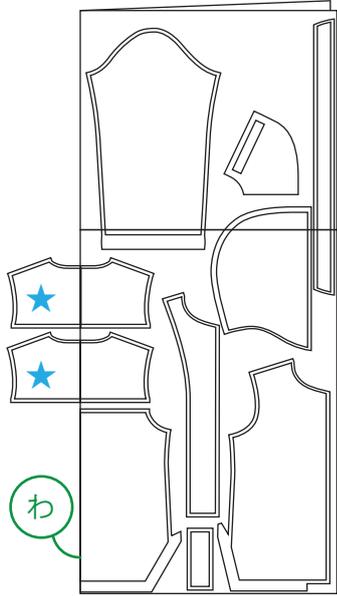


袋布は、このアイテムでは別布で裁断してください。  
(配置図に入っていません)

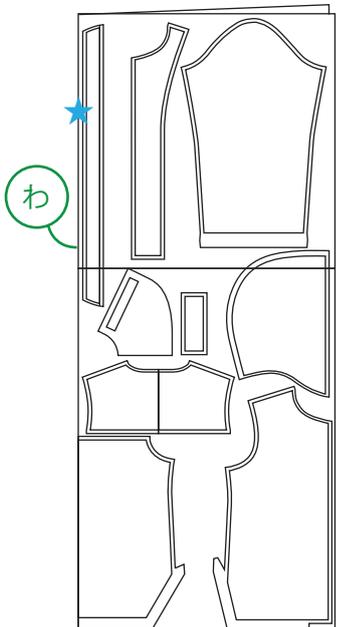
S (110cm 幅) 1.8m



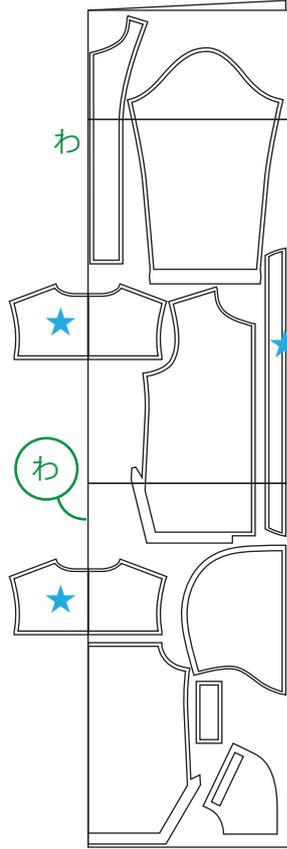
S (140cm 幅) 1.6m



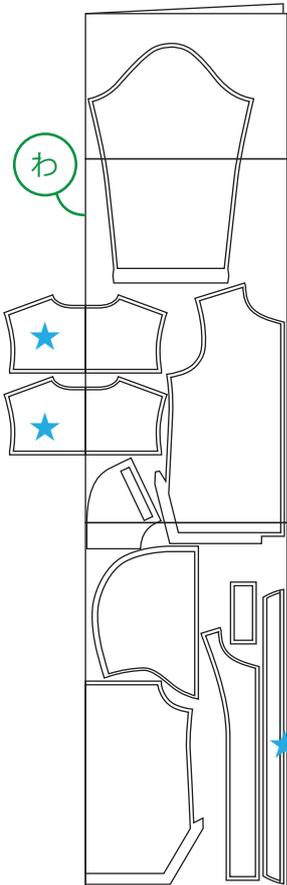
←M (110cm 幅) 2.0m



M (140cm 幅) 1.7m

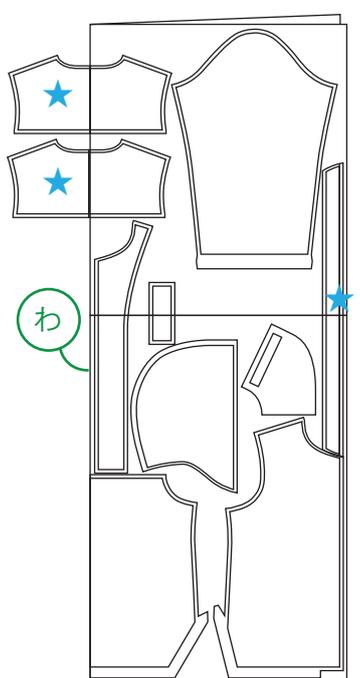
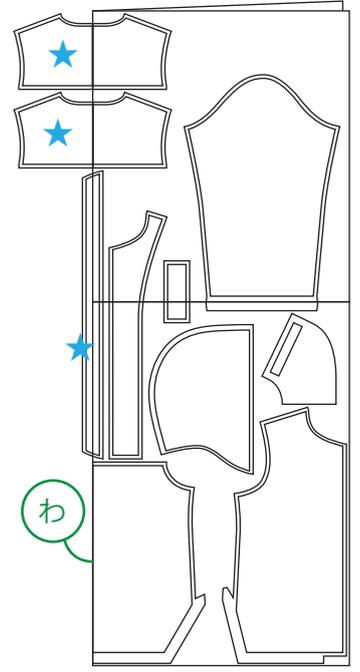


L (110cm 幅) 2.3m



LL (110cm 幅) 2.4m

L (140cm 幅) 1.8m



LL (140cm 幅) 1.8m

ポケット

右ポケットで説明しています。



●箱ポケットをきれいに縫う  
コツ1



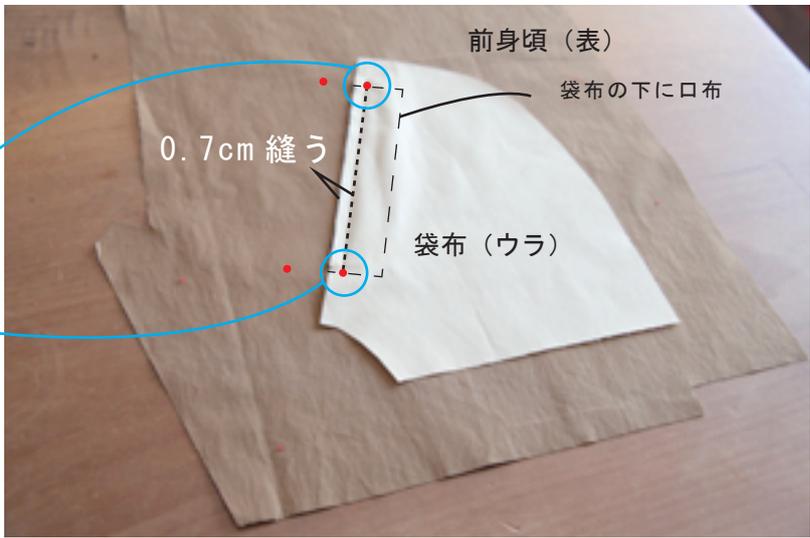
口布の縫い代をアイロンで潰して薄くする

ポケットを作ります。口布を中表に折って、両脇を1cmで縫います。表に戻します。

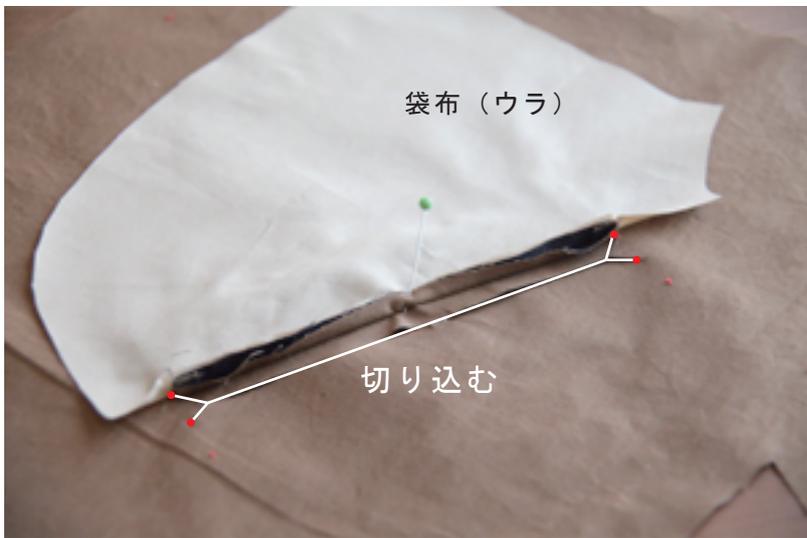
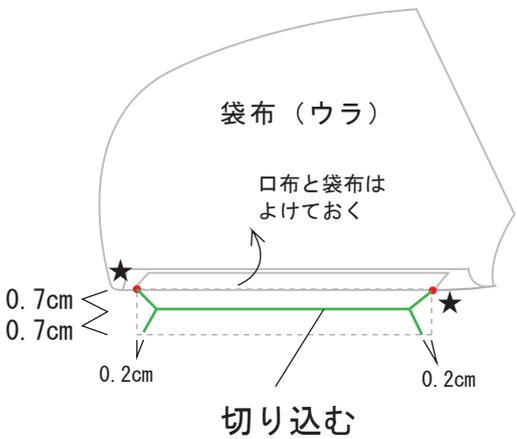
●箱ポケットをきれいに縫う  
コツ2

口布を縫う時の糸調子は緩めで、ミシン目は普通～細かめで縫います。

また、口布の端よりもミシン目が外側に出ないように注意する。



身頃 (表) のポケットできあがり口に、口布を置き、その上に、袋布を中表において、0.7cmで、印～印の間を縫い合わせます。



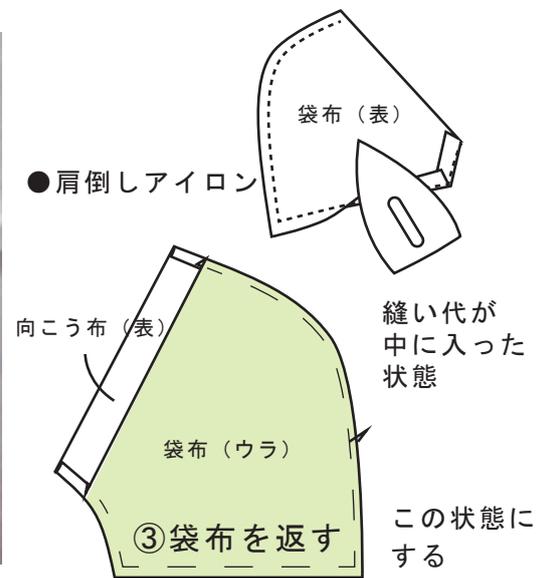
●箱ポケットをきれいに縫う  
コツ3

角までしっかり切り込む (★)

今縫ったところをよけて、矢羽根に切り込みを入れます。(左図を参照)

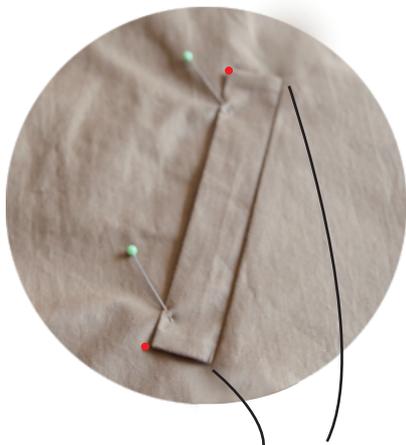


袋布を身頃裏面に引き出し、切り込みを入れた上部の縫い代を折ります。

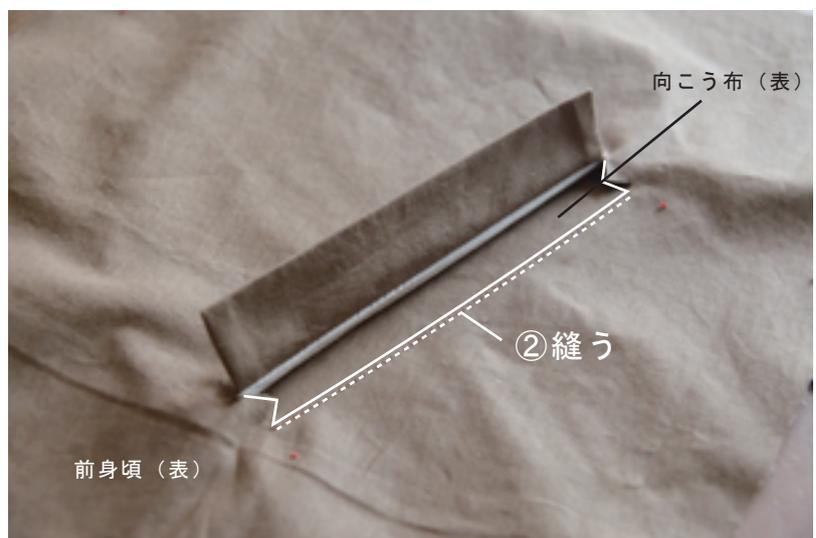


身頃を横によけて、袋布と向こう布を外表に重ねて、周囲を0.5cmで縫います。縫った縫い代は肩倒しアイロンして、整え、表に戻しておきます。

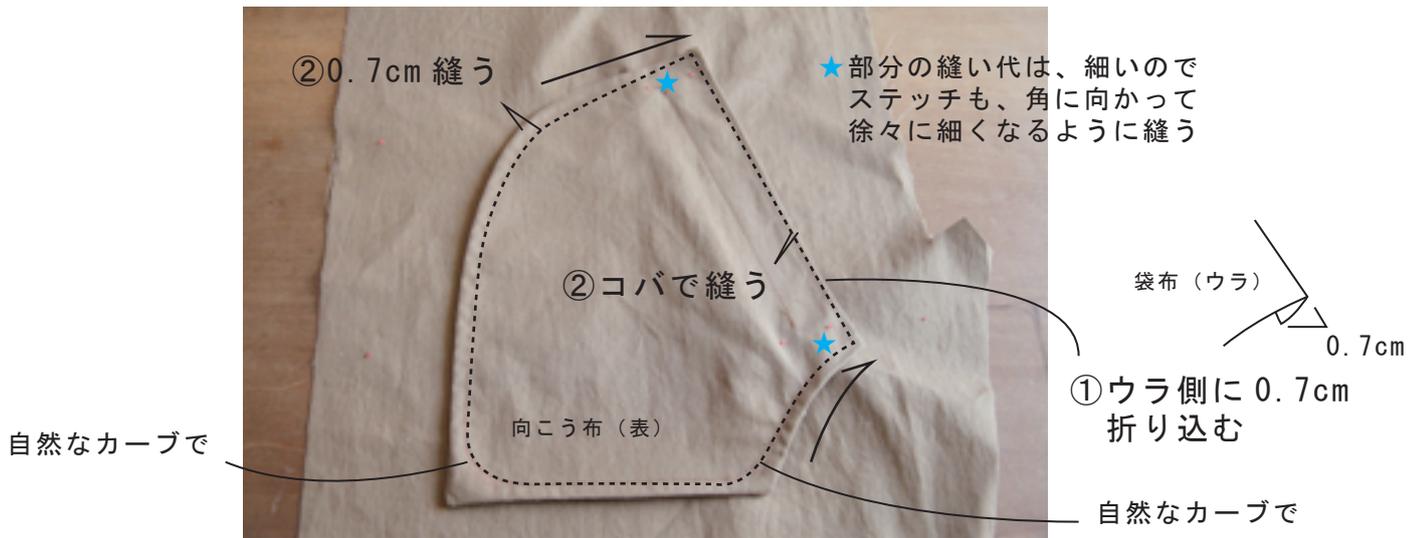
●箱ポケットをきれいに縫う  
コツ4



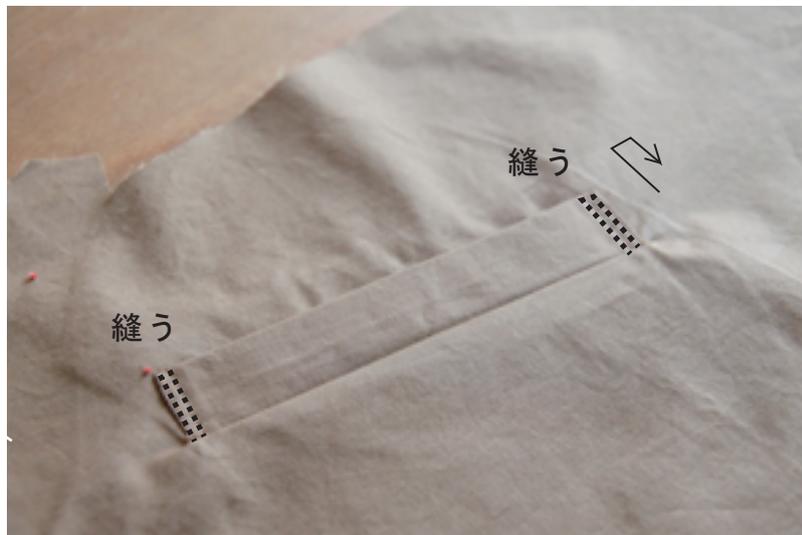
ステッチの前にできあがりの状態にして、角にしわができないように確認してから進みます



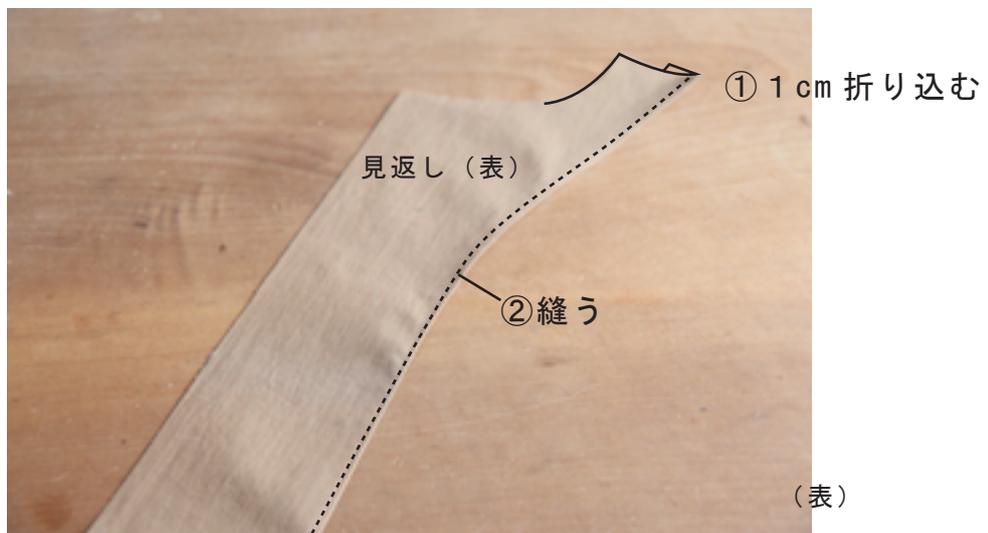
ポケット口を、向こう布まで通してミシンでとめます。



向こう布の上端をウラ側に0.7cm折り込んで、コバで縫います。  
 そのあと、袋布のまわりを写真を参考に、ぐるっと縫います。

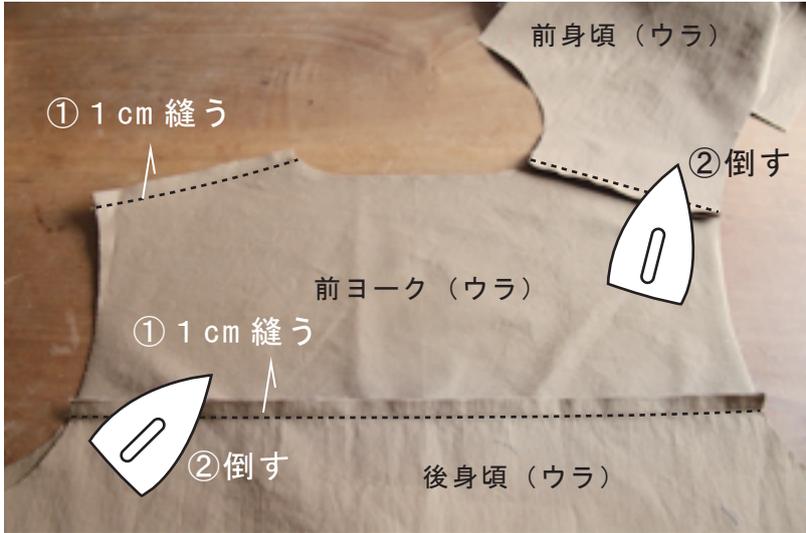


口布の両脇を、コの字型にステッチしてとめます。

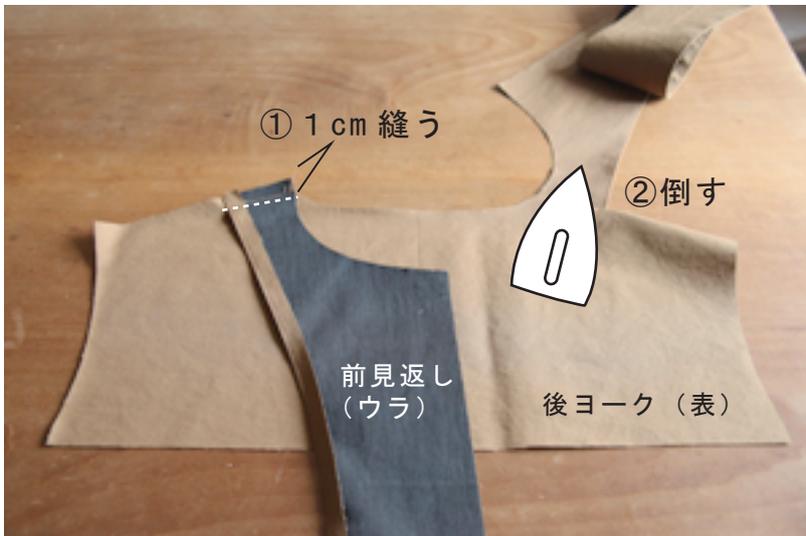


身頃の見返し奥を1cmウラ側に折り込み、コバステッチします。

ヨーク  
縫い合わせ

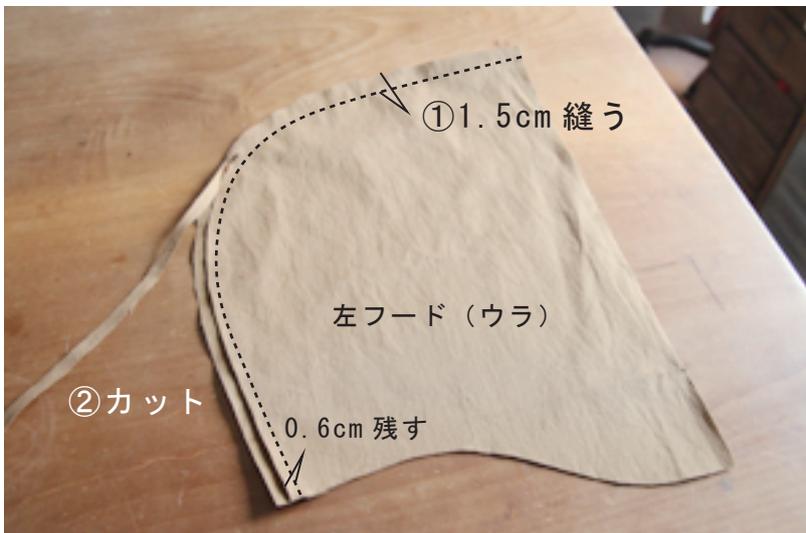


前身頃と前ヨークの肩、後身頃と前ヨーク切り替えをそれぞれ中表に合わせて、1 cm で縫い合わせます。縫い代は、いずれもヨーク側に倒します。

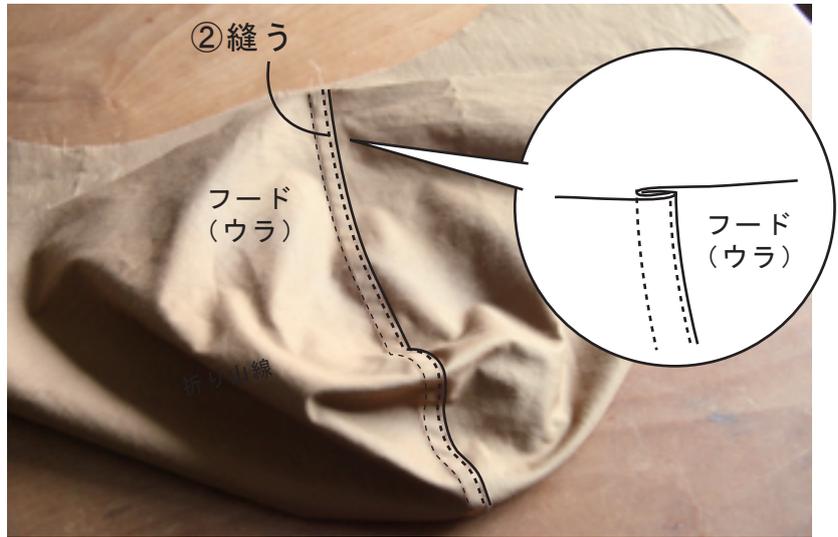
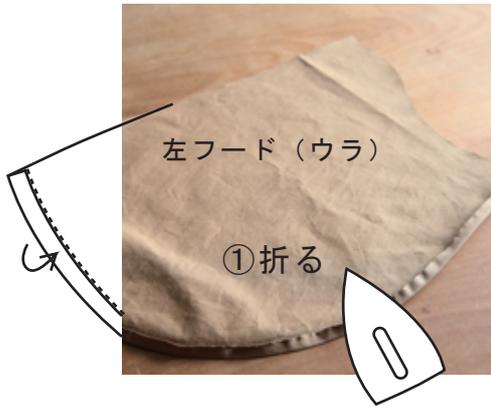


見返しと後ヨークの肩を中表に合わせて、1 cm で縫い合わせます。縫い代は、ヨーク側に倒します。

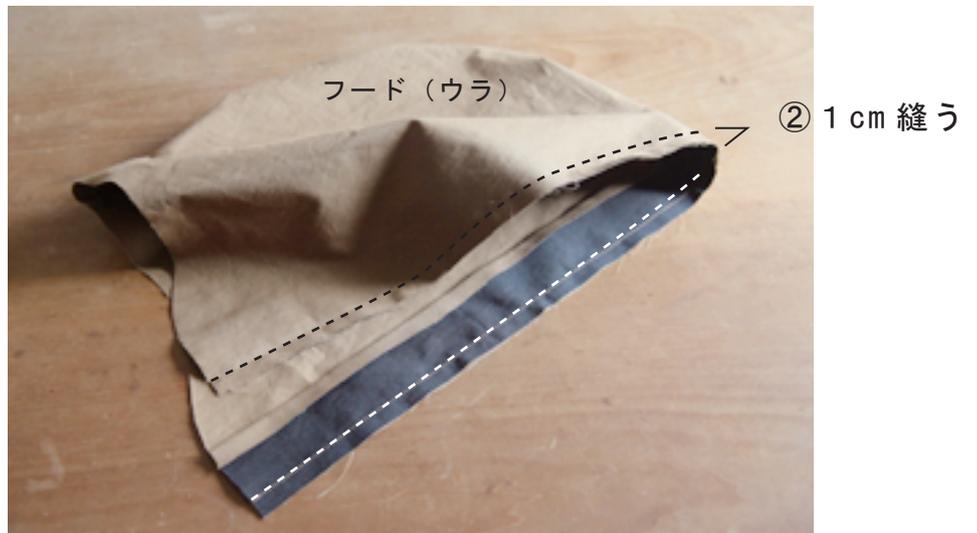
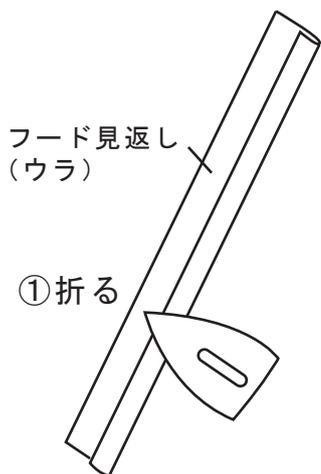
フード



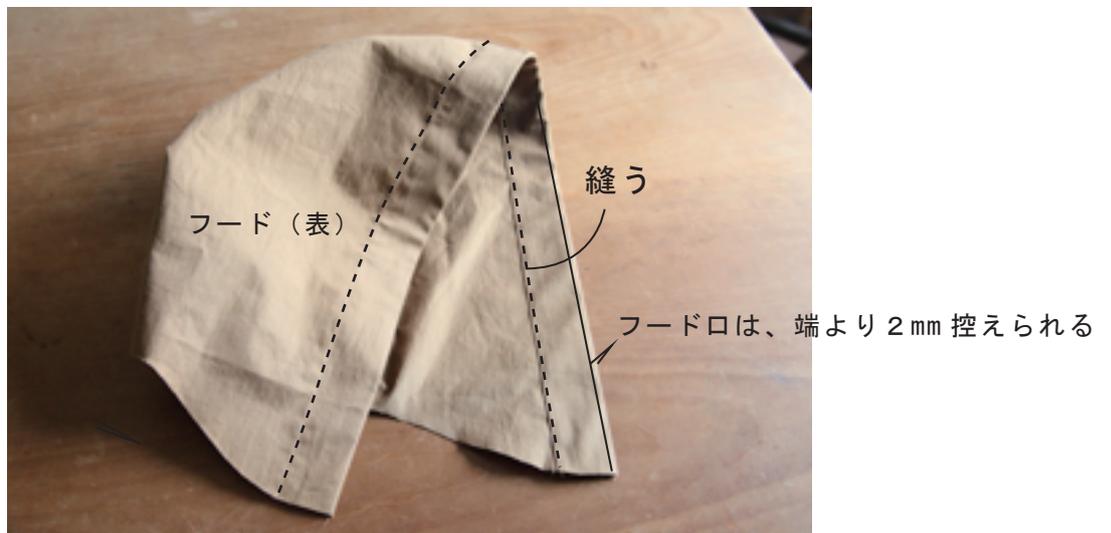
フードを中表に重ね、後中心を1.5cmで縫い合わせます。左フード側の縫い代のみ、縫い代を0.6cm残してカットします。



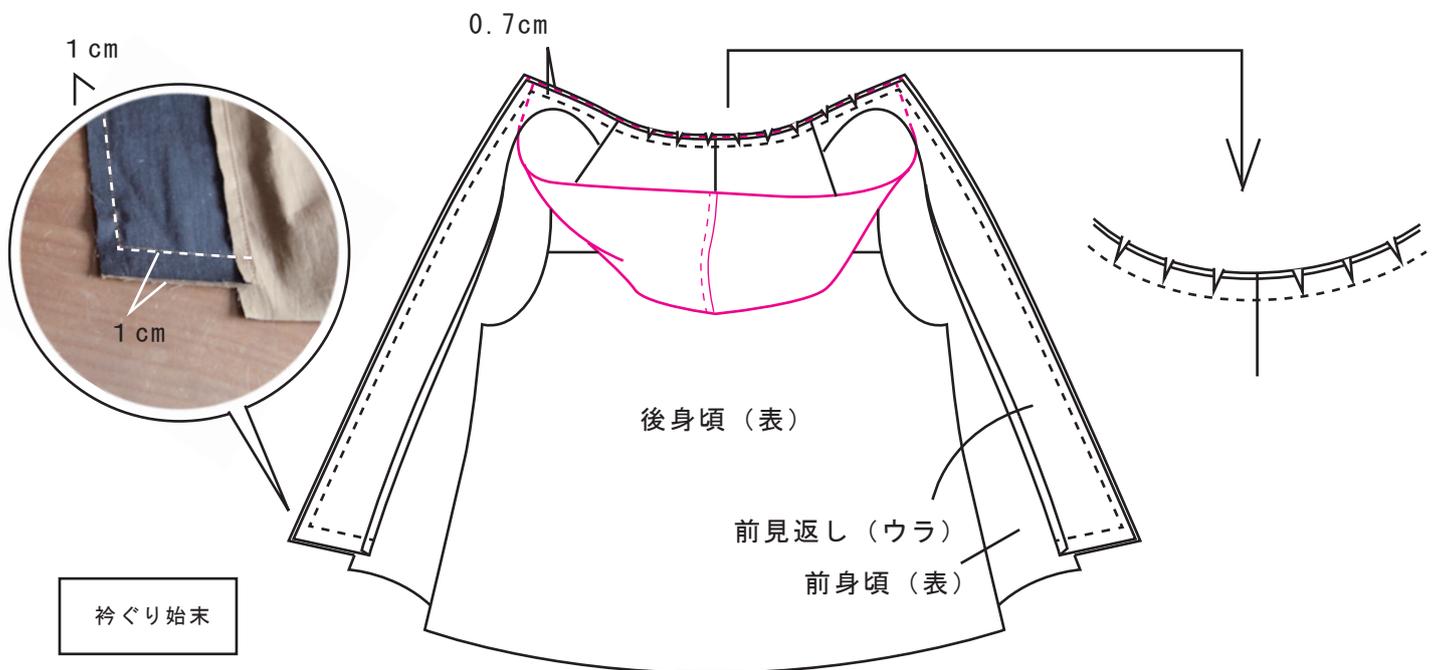
残した0.6cmの縫い代をもう一方で包んでステッチ始末します (折りふせ縫い)  
 カーブのきつところを縫っていくので、最初にしっかりと縫い代を包んで、  
 ゆっくりと縫いすすめます。



フード見返しの奥側を1cm最初に折ってから、フード口と中表に合わせて  
 1cmで縫い合わせます。



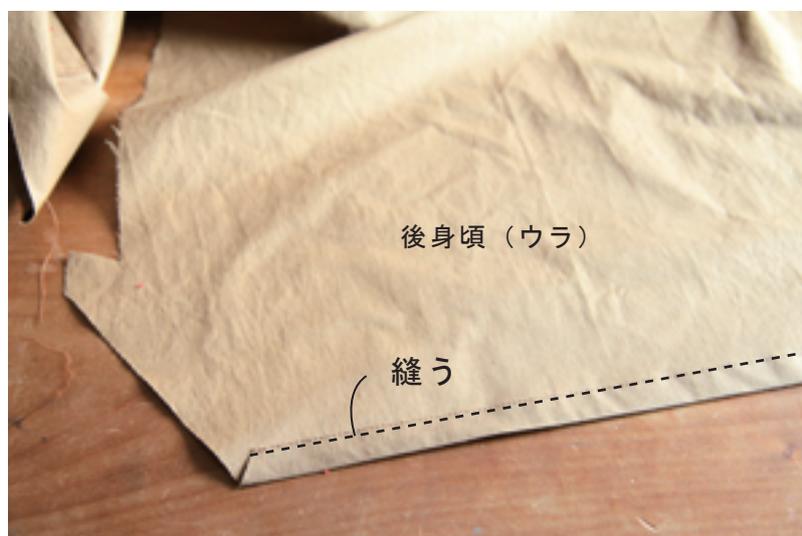
表に返して、見返し側が2mm控えられるようアイロンで整え、  
 見返し奥をステッチでとめます。



前裾～前端～衿ぐりを表に合わせ、フードを挟み込んで縫います。  
 前見返し裾はと前端は1 cm、衿ぐりは0.7cmと縫い代幅が違うので注意。  
 衿ぐりは、カーブのところは切り込んでおきます。

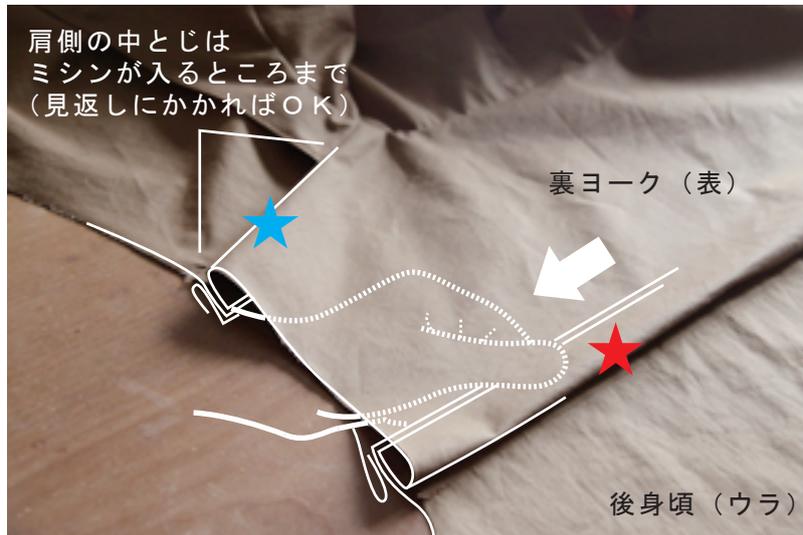


表に返し、裾をできあがりに折って、ステッチ始末します。  
 ポケットは、縫い代部分の端を見返し端にとめつけます。

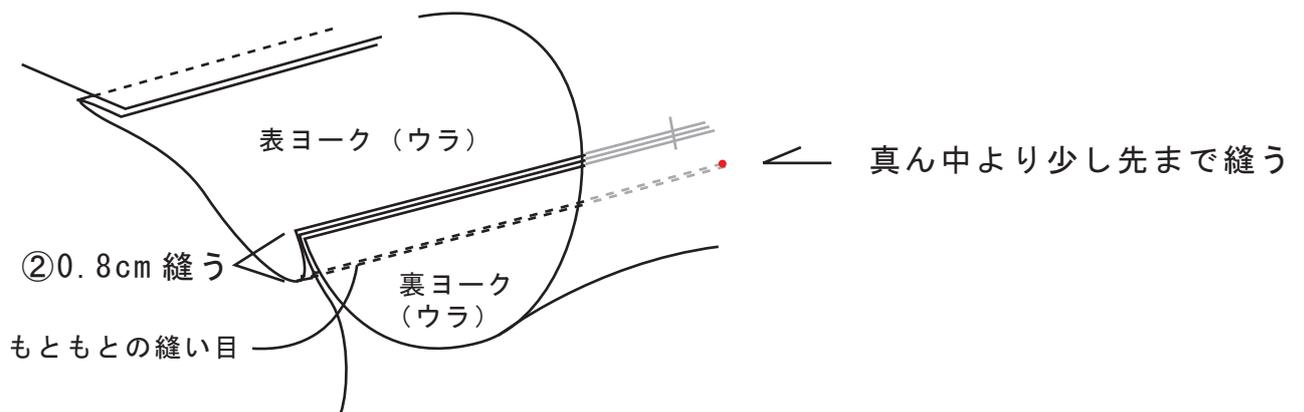


後身頃の裾も、できあがりに折って、ステッチ始末します。

裏ヨーク縫い

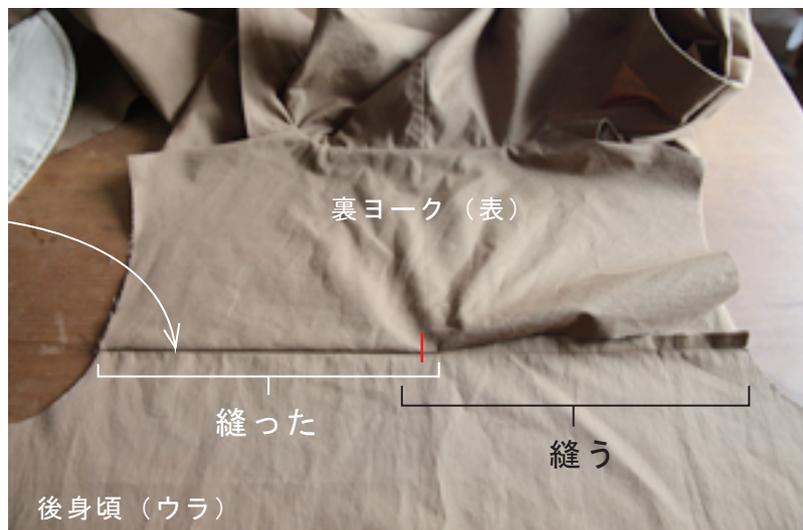


裏ヨークと後身頃との切り替え部分 (★) 裏ヨークと肩 (★) を中表で縫います。最初に、裏ヨークと後身頃をできあがりの状態に縫い代を折って置き、横から手を入れて、★部分の縫い代をつまみだします。



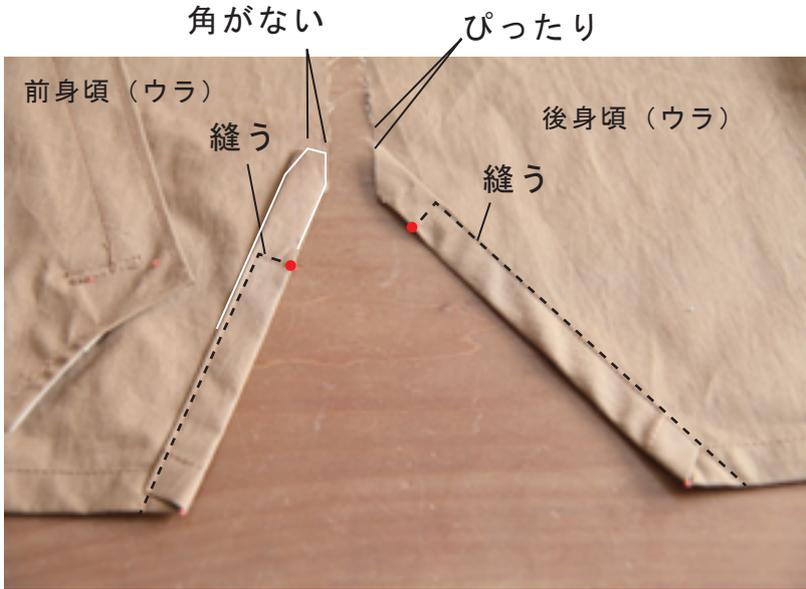
つまみだしたところを0.8cmで(すでに縫ってある縫い目の2mm内側)縫い合わせます。ミシンが入る、真ん中より少し先まで縫って止めます。

もし縫い方が  
わからない場合は、  
手でまっつてもOK



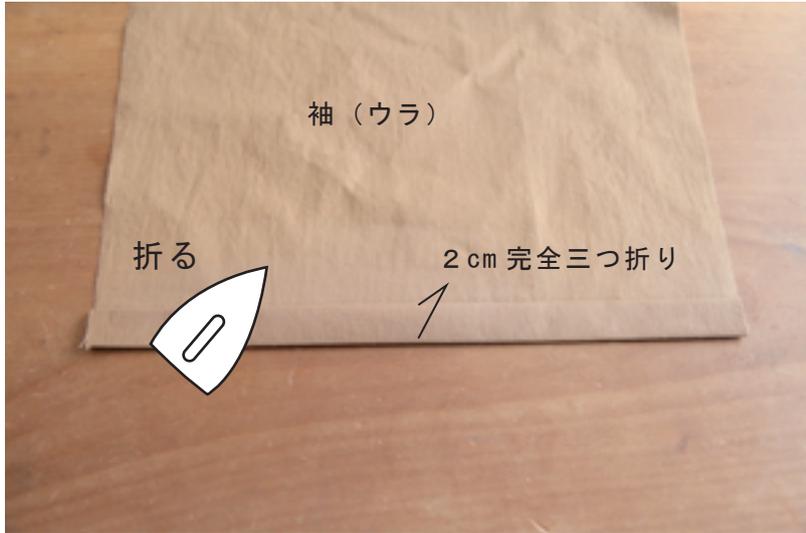
こういう風になっているので、反対側からも同じように縫います。中央部分でミシン目が少し重なります。

脇裾の始末



脇の裾部分をできあがりに折って、ステッチ始末します。脇のところでは、印に直角に入るようにステッチ。後身頃の縫い代は脇にぴったりですが、前身頃の縫い代はかなり鋭角になるので、縫い代の角がカットされています。

袖つけ

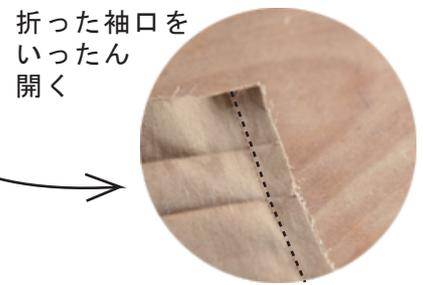
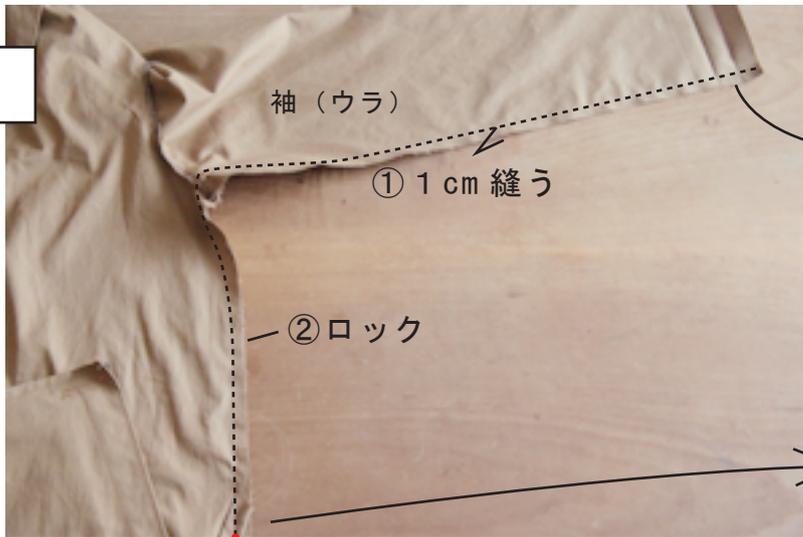


袖口をアイロンで、あらかじめできあがりの状態に折っておきます。



身頃と袖を中表に合わせて、1 cm で縫い合わせます。縫い代はロック始末して、身頃側に倒します。

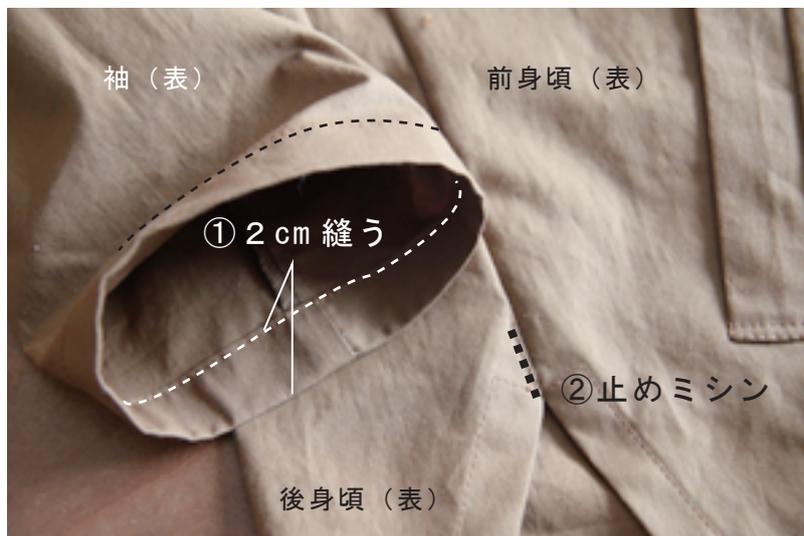
袖下～脇



袖下～脇を、中表に合わせて1 cmで縫い合わせます。縫い代はロック始末し、後身頃側に倒します。

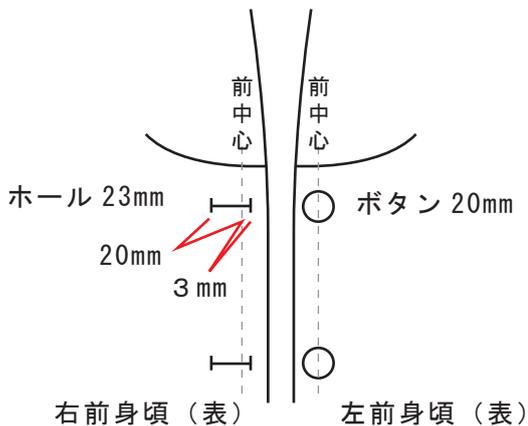
前と後ろで裾の角度が違いますが、印を合わせて印に向かって縫います

袖口



袖口をできあがりに折って、2 cm ステッチで始末します。脇裾の縫い代は、縫い代に角度があるので脇線ぎりぎりに止めミシンを入れます。

仕上げ



ボタンホールを開け、ボタンをつけて完成です。